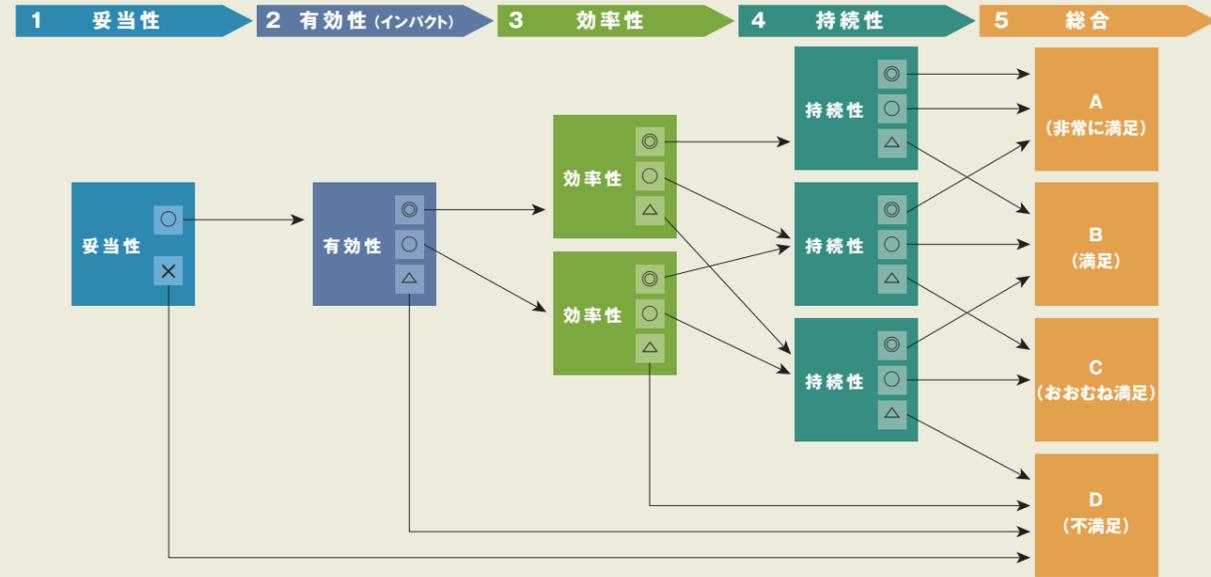


評価結果に基づきレーティングを実施、個別評価をわかりやすく公表しています。*

当行では評価結果を従来よりわかりやすく公表し、評価への理解を深めていただくために、2003年度の個別評価について、「A(非常に満足)、B(満足)、C(おおむね満足)、D(不満足)」の4段階でレーティングすることとしました。レーティングではまず、事業の①妥当性、②有効性(インパクト)、③効率性、④持続性について個別に評価し、

この結果をもとにレーティング・フローチャートに従い、総合評価を行っています。また、レーティングを行うにあたっては、可能な限り定量的な基準を用い、客観性を確保できるよう努力しています。2003年度の52件では、Aが20件(38%)、Bが20件(38%)、Cが10件(20%)、Dが2件(4%)となりました。

レーティング・フローチャート

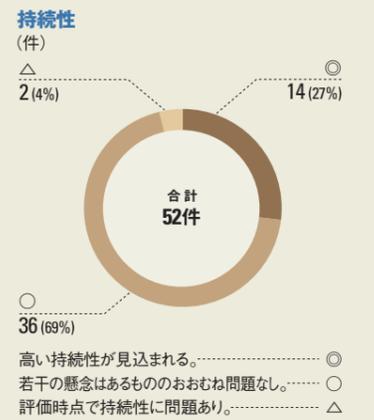
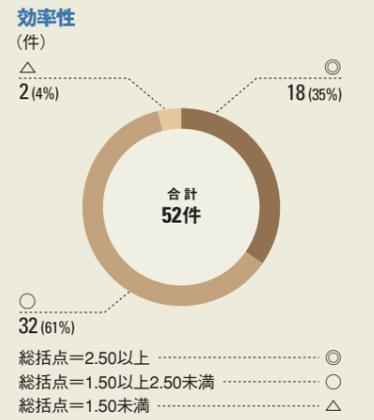
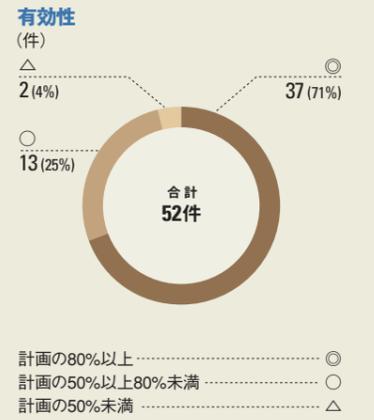
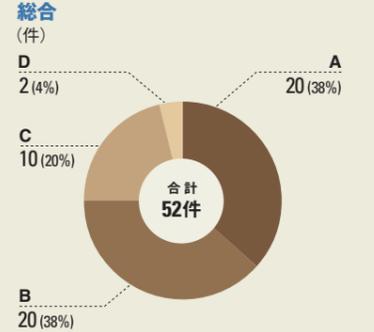


レーティングの方法

項目	ポイント	基準	備考
1 妥当性	事前評価時および事後評価時の開発ニーズおよび開発政策との整合性を確認する。	整合性が認められる。	○
		整合性が認められない。	×
2 有効性 (インパクト)	効果について計画と実績で比較する。	計画の80%以上	◎
		計画の50%以上80%未満	○
		計画の50%未満	△
		計画の50%未満	△
3 効率性	アウトプット、期間、事業費の3つの項目について計画と実績で比較する。そのうえで、3つの項目を総合して事業の効率性を分析する。	1.アウトプット	
		計画の80%以上	◎ 3点
		計画の50%以上80%未満	○ 2点
		計画の50%未満	△ 1点
		2.期間	
		計画の125%以下	◎ 1点
		計画の125%超200%以下	○ 2点
		計画の200%超	△ 3点
		3.事業費(外貨換算の総事業費)	
		計画の125%以下	◎ 1点
計画の125%超200%以下	○ 2点		
計画の200%超	△ 3点		
4.上記3項目の総括点		総括点 = $\frac{\text{アウトプット点}}{(\text{期間点} + \text{事業費点}) \div 2}$	
総括点 = 2.50以上	◎		
総括点 = 1.50以上2.50未満	○		
総括点 = 1.50未満	△		
4 持続性	財務面を基本に技術および体制面や設備の状況等を勘案する。	高い持続性が見込まれる。	◎
		若干の懸念はあるもののおおむね問題なし。	○
		評価時点で持続性に問題あり。	△
5 総合	総合的な判定を行う。	上記フローチャート参照。	

*レーティングはわかりやすい反面、結果の一面のみが過度に強調されてしまうおそれもあり、その是非についてさまざまな議論がありますが、世界銀行やアジア開発銀行をはじめとする国際開発金融機関等において採用されている状況を踏まえ、当行独自の手法で試行的に実施しました。

No.	国名	事業名	妥当性	有効性	効率性	持続性	総合
1	タイ	職業教育短大強化事業	○	◎	○	○	B
2	タイ	地方3都市上水道拡張事業、南部地方3都市上水道拡張事業	○	◎	○	○	B
3	タイ	タイ電話網拡充事業、加入者ケーブル事業等全6事業	○	◎	◎	○	A
4	タイ	メーモ火力発電所脱硫装置設置事業	○	◎	○	◎	A
5	インドネシア	ダイヤコロット発電機修理センター修復事業	○	◎	○	○	B
6	インドネシア	コタバンジャン水力発電および関連送電線建設事業(1)(2)	○	◎	○	○	B
7	インドネシア	ビリビリ多目的ダム建設事業(1)(2)(3)	○	◎	◎	◎	A
8	インドネシア	バンジャルマシン石炭火力発電所建設事業	○	◎	○	○	B
9	インドネシア	バリ国際空港整備事業(2)	○	○	◎	○	B
10	インドネシア	電話局外設備保守センター建設事業(2)	○	◎	○	◎	A
11	インドネシア	環境モニタリング改善事業	○	○	○	○	C
12	インドネシア	ラジオ・テレビ放送施設改善事業(3)	○	◎	○	○	B
13	インドネシア	パダン洪水防御事業(2)	○	◎	◎	○	A
14	インドネシア	メラピ火山およびスメル火山防災事業(2)	○	◎	◎	○	A
15	インドネシア	コメリン灌漑事業(2)	○	◎	◎	○	A
16	インドネシア	農業開発事業(2)	○	◎	◎	○	A
17	インドネシア	ムラワルマン大学整備拡充事業	○	○	◎	○	B
18	インドネシア	地方電化事業(2)	○	◎	○	○	B
19	インドネシア	道路維持整備事業(2)	○	◎	○	○	B
20	インドネシア	ハサンサディキン病院改善事業	○	◎	◎	◎	A
21	インドネシア	地方インフラ整備事業(2)	○	○	◎	○	B
22	インドネシア	ジャカルタ首都圏通信網整備事業(1)(2)	○	◎	○	◎	A
23	マレーシア	テノンパンギ水力発電所リハビリテーション事業	○	○	○	○	C
24	フィリピン	カピテ輸出加工区開発事業	○	◎	◎	◎	A
25	フィリピン	ロザリオ-ブゴ-バギオ道路修復事業	○	◎	○	○	B
26	フィリピン	NEA地方電化事業	○	◎	○	○	B
27	フィリピン	電力網整備事業	○	○	○	○	C
28	韓国	医療施設拡充事業(2)	○	◎	○	○	B
29	韓国	教育施設拡充事業(2)(3)	○	◎	○	◎	A
30	韓国	研究所施設拡充事業	○	◎	◎	◎	A
31	韓国	配合飼料工場建設事業	○	◎	△	○	C
32	モンゴル	鉄道輸送力整備事業(1)(2)	○	◎	◎	○	A
33	ベトナム	沿岸無線整備事業	○	◎	○	○	B
34	スリランカ	地方都市通信網整備事業	○	◎	◎	◎	A
35	スリランカ	プランテーション改善事業	○	○	◎	○	B
36	バングラデシュ	ゴラサール肥料工場改修事業(2)	○	○	◎	△	C
37	インド	東ガンダック用水路水力発電事業	○	△	○	○	D
38	インド	ハルディア港近代化事業	○	◎	○	◎	A
39	インド	インドラバチ上流灌漑事業	○	◎	○	○	B
40	インド	コラブ上流灌漑事業	○	◎	○	○	C
41	インド	インディア・ガンジー運河地域植林事業	○	◎	○	◎	A
42	インド	スリサイラム送電線建設事業(1)(2)	○	◎	○	◎	A
43	インド	コタグダムA火力発電所近代化事業	○	◎	◎	◎	A
44	インド	ツチコリン港浚渫事業	○	◎	◎	◎	A
45	ネパール	クリカニ防災事業(2)	○	◎	○	○	B
46	パキスタン	ダウドケル肥料工場近代化事業(1)(2)	○	◎	○	○	B
47	エクアドル	電気通信網拡充事業	○	◎	○	○	B
48	ウズベキスタン	地方3空港近代化事業(1)(2)	○	○	○	○	C
49	カザフスタン	鉄道輸送力増強事業	○	○	○	○	C
50	ボツワナ	南北導水事業	○	○	○	○	C
51	チュニジア	農業セクター投資事業	○	○	○	○	C
52	ケニア	園芸作物処理施設建設事業	○	△	△	△	D



*妥当性については、すべての事業について、ニーズ、政策との整合性が確認された。